

新人教育プロジェクト

～新人の働きやすい職場を目指して～

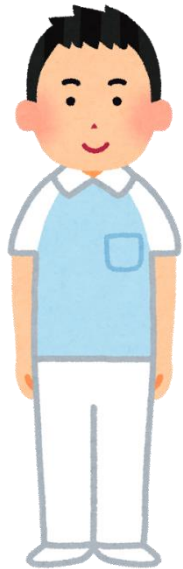


社会福祉法人 愛隣会
特別養護老人ホーム 旭水荘

清水勇貴



新人教育について

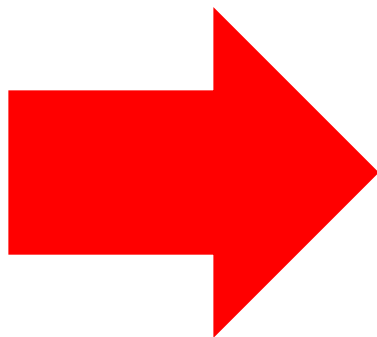


《新人教育の問題点》

- 指導内容に統一性がない
- 新人の進捗状況が共有できていない
- 指導期間が明確になっていない
- 相談しづらい環境



新人の働き
やすい職場
とは・・・？



良好な人間関係

やりがい

丁寧な教育体制



介護プロフェッショナル キャリア段位制度

- 評価、できると判定されることでの専門職としての自覚
- 目標達成までの手段や手順の整理
- 自分のレベルを見直しによるモチベーションの向上
- できていない部分が明確化



新人教育との共通点になる

できる / できないチェックシート

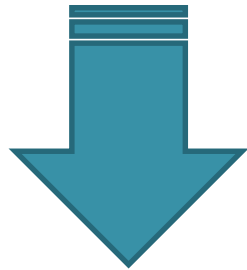
「できない」ことを
「できる」ように



排泄の準備ができています	パット、アウター等必要物品を準備できている
おむつ交換が安全に行えている	利用者へ声掛けし、了解を得ている 利用者の身体状態を理解している 皮膚の状態の確認ができています プライバシーに配慮できている(カーテン) 使い捨て手袋を着用している シャツ、清拭布を使用し、清潔保持に努めている おむつ交換後、衣類、寝具の整頓はできている 尿、便の性状を確認している 一人おむつ交換が終わった毎に、手洗いでできている 排便時、排便チェック表に記録できている
排泄介助	
トイレ介助が安全に行えている	利用者への声掛けが行えている 利用者の身体状態を理解している 指定されたパットを使用している プライバシーに配慮できている(ドア) 皮膚の状態の確認ができています 排便時、排便チェック表に記録できている 排泄介助後、排泄チェック表に記入できている 残存機能を活用した介助を行えている
1人介助を安全に行えている	立位をとる前に足の位置を確認できている 立位時転倒に気を付けながら介助できている ズボンを下ろす時、身体を支えられている 便座に座った際、座位の安定は保っている 安全バーを下ろし、転落防止できている 見守りが必要な利用者が把握できている トイレ介助後、衣類、座位は整えている
2人介助を安全に行えている	2人で声を掛け合いながら行えている

できる / できない チェックシートを 作ってみよう

できる / できないの
基準を考える



判断基準の明確化

おしぼり、エプロンが準備できている	<ul style="list-style-type: none">・おしぼりを使用できない利用者を把握している・エプロンは男女それぞれにあった色を選択している
食事介助用エプロンを着用している	<ul style="list-style-type: none">・手洗い・手指消毒をしてから、エプロン着用している
利用者の手指消毒ができている	<ul style="list-style-type: none">・配膳前に手指消毒ができている
義歯装着を確認している	<ul style="list-style-type: none">・義歯を装着する必要がある利用者を把握できている・義歯が合っているか、きちんと装着できているか確認できている
利用者に合わせた水分が用意できている	<ul style="list-style-type: none">・利用者に合わせたコップが用意できている・利用者によって、トロミ具合を調整できている・水分制限のある利用者を把握している・好みに合わせた飲み物を提供できている（温かいお茶、アクリ、お茶ゼリー等）
献立の形態が合っているか確認している	<ul style="list-style-type: none">・各札の献立を確認してから配膳している
配膳の各札 薬の名前を確認し、配膳している	<ul style="list-style-type: none">・各札と薬袋の利用者名を確認している

<問題解決への課題>

いつまでに「何を」「どこまで」
「誰」が教えるのか

①スケジュール管理

新人職員はいつ誰に相談すれば
よいか

②その日の振り返り

「誰が」教えても「同じ事」を
教えられるか

③指導マニュアルの
充実

新人職員の進捗状況は
誰が把握するのか

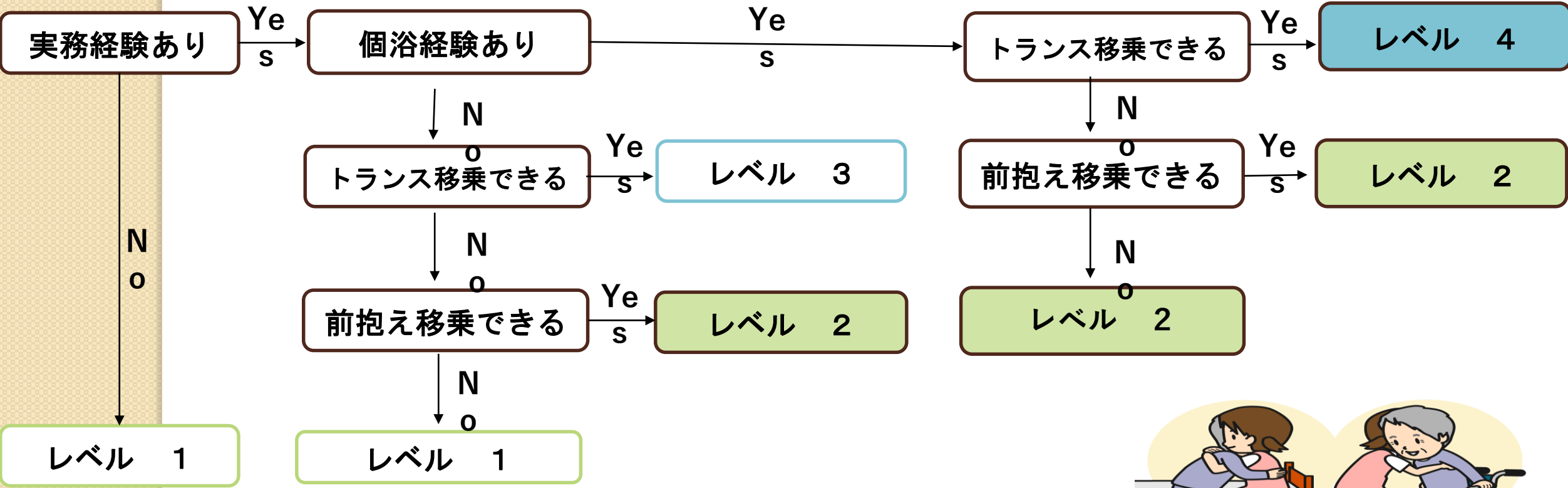
④進捗管理

①スケジュール管理

新人教育スケジュール表

1週目	2～3週目（2週間）	4～8週目（5週間）	9～22週目（3ヶ月間）	23～26週目（1ヶ月間）
ステップ1 慣れる	ステップ2 基本業務①	ステップ3 基本業務②	ステップ4 変則勤務	ステップ5 夜勤
習得する主な業務				
雰囲気慣れる 利用者を覚える	食事介助 おむつ交換 移動・誘導介助 移乗 ストレッチャー 特浴 間接業務	移乗介助 前抱え トランス移乗 トイレ介助	早番・遅番 個浴 日誌入力 各種チェック表の記入	夜勤

介護技術のレベル判定を行う



- レベル 1 未経験もしくは未経験に等しい
- レベル 2 実務経験はあるが少し技術不足（**実際に移乗介助を見て判定**）
- レベル 3 即戦力…（基本業務+入浴技術研修終わってから変則勤務）
- レベル 4 即戦力…（基本業務実覚えたら変則勤務）

②その日の振り返り

業務日誌

指導者間の申し送りノート



「明日の目標設定」

STEP		業務日誌		
年 月 日		氏名	所属	
7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00	業務内容	振り返り、質問		
	業務内容	質問		
		指導者コメント		
			コメント	
	本日の反省			
	明日の目標			

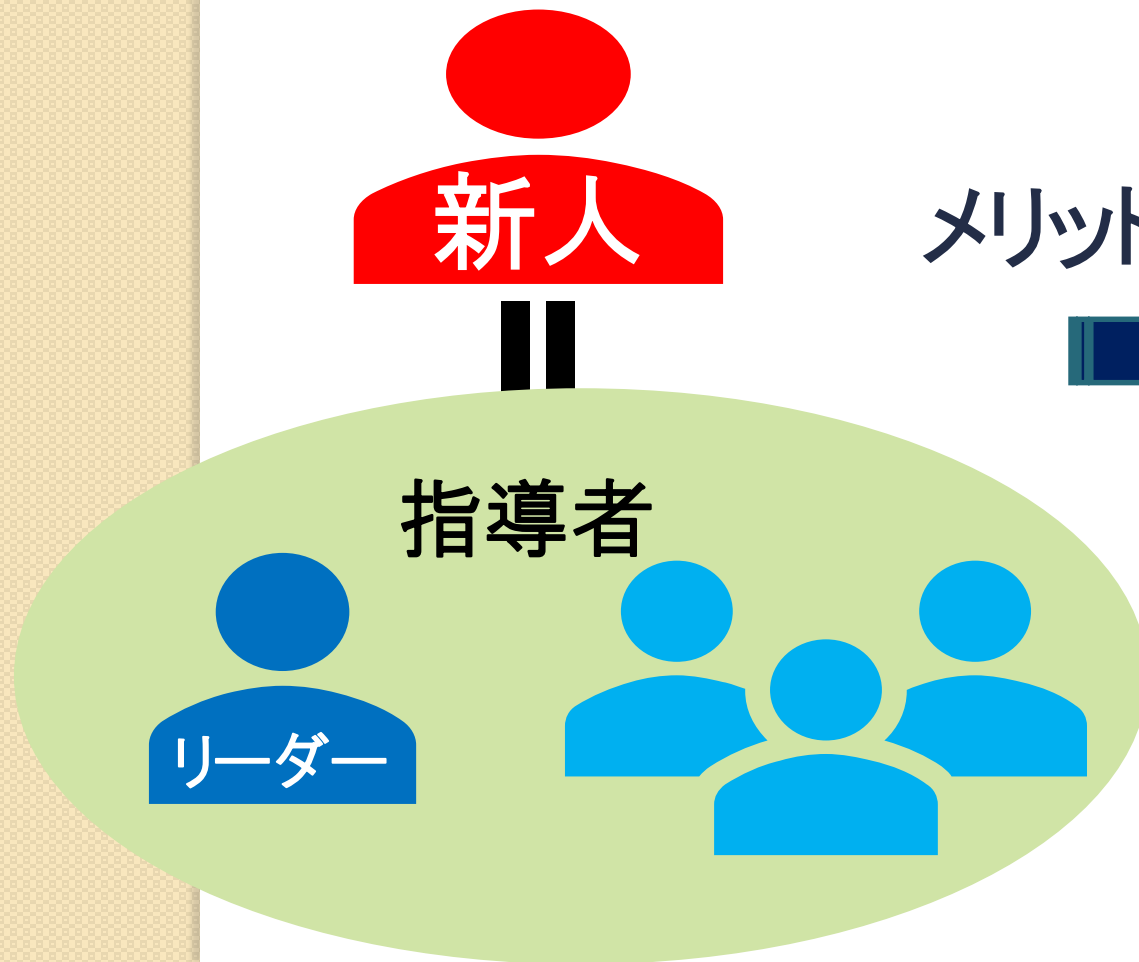
しかし ■ ■ ■

最初から最後まで
一人の職員が指導
するのは難しい



③指導マニュアルの充実

チーム制(4人)



メリットは？



指導に幅が出る

新人指導の負担の軽減

**指導内容の統一
把握がしやすい**

③指導マニュアルの充実

指導内容の統一

移乗の基本的な方法

トイレ介助の基本的な方法

利用者毎の移乗介助

利用者毎のトイレ介助

食事介助の基本的な介助

利用者毎の食事介助方法

個別マニュアル（指導用）

利用者名	〇〇 〇〇様	性別	男性	年齢	〇〇歳	介護度	4
生年月日	昭和〇年〇月〇日	既往歴	脳出血後遺症 前立腺肥大症尿カテーテル留置				

<移乗>

方法	前抱え	車椅子	普通車椅子（リクライニング式）
注意点	身体を起こすときは、両腕を持ち、円を描くように起こす。足の位置に注意し、ベッドと車椅子の位置関係を把握し移乗する。 ※必ず、尿バックは本人の正面（床）に置く。車椅子にかけたまま移乗すると、突っ張りができてしまい、出血の原因になる。		

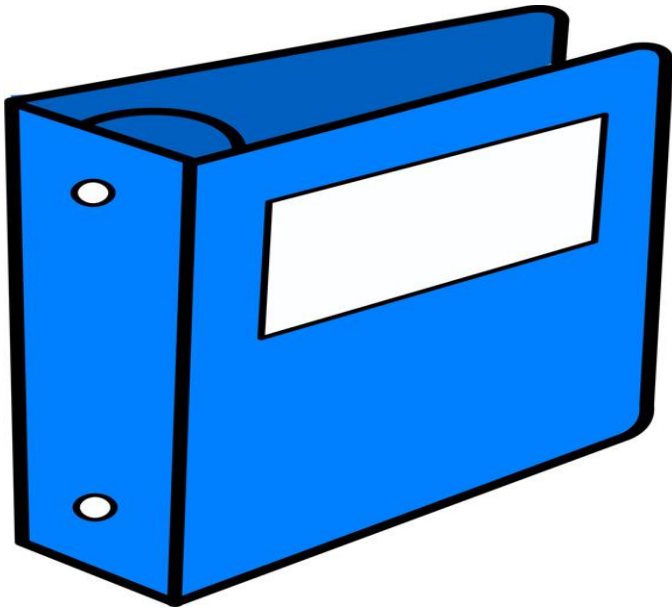
<排泄>

内容	日中	排便時のみトイレ	夜間
注意点	トイレの介助を使用する		

④進捗管理

進捗状況ファイル

申し送りノートとして
活用



- 1 ・ 介護技術レベル判定表
- 2 ・ 新人教育スケジュール表
- 3 ・ できる / できないチェックシート
- 4 ・ 進捗状況表
- 5 ・ 業務日誌

良かった点

進捗状況の
共有化

職員間の連携



モチベーション

責任感

反省点

指摘ばかりに
なってしまうて
いたなあ

指導職員の
指導力不足

不満



信頼関係

取り組んだ結果新人がどうなったか・・・？

介護経験者
2名

継続

《理由》

- ・仕事を覚えやすかった
- ・忙しい中でもきちんと新人との時間があった。

介護未経験者
(転職組) 2名

退職

《理由》

- ・介護職の理想と現実のギャップ
- ・人間関係の悪化

介護未経験者
(新卒) 1名

退職

《理由》

- ・介護職の理想と現実のギャップ

今後の課題

コーチング

指導についての技術、知識を学び、
新人職員と共に成長することを
意識しながら、指導に臨む。

課題対策

- 施設管理者との面談



- 進捗管理表の修正

- 役職者へのコーチング研修実施



人を動かす

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、
褒めてやらねば、人は動かす

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、
人は育たず

やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、
人は実らず

山本五十六

ご清聴ありがとうございました。

